

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

側方進入腰椎椎体間固定術における患者満足度予測のための機械学習モデルの開発と検証

1. 研究の対象

2018年4月1日から2023年10月31日までに当院で側方進入腰椎椎体間固定術(LLIF)を受けた18歳以上の患者さんです。

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年3月31日 まで

24.12.20

3. 研究目的・方法

目的

近年、LLIFは腰椎変性疾患の治療において低侵襲手術として広く用いられています。この手術は、術中の出血量の軽減や術後の早期回復を可能にし、特に高齢患者や併存疾患を持つ患者にとって魅力的な治療法と考えられています。しかし、手術が問題なく行われても、術後満足度はさまざまです。本手技の満足度を高めるためには、術後の機能的回復や心理的健康を含めた多面的な要因を考慮する必要があります。

本研究の目的は、機械学習モデルを用いてLLIFの患者満足度に影響を与える要因を特定し、予測精度を評価することです。これにより、術前カウンセリングや治療計画の個別化を図るための知見を得ることを目指します。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：電子カルテから患者背景、手術の詳細情報（手術時間、出血）、退院サマリーおよび痛みのスコアや生活の質（QOL: Quality of life）評価、術前や術後の画像情報（レントゲン・CT・MRI）

・試料:なし

5. 情報の提供先・提供方法

特にありません

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）

研究責任者 整形外科／檜山 明彦

問い合わせ担当者 整形外科／檜山 明彦